

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第2部門第6区分
 【発行日】令和5年2月15日(2023.2.15)

【公開番号】特開2022-110142(P2022-110142A)
 【公開日】令和4年7月28日(2022.7.28)
 【年通号数】公開公報(特許)2022-137
 【出願番号】特願2022-83797(P2022-83797)
 【国際特許分類】

B 6 5 D 47/20(2006.01)

B 6 5 D 1/02(2006.01)

B 6 5 D 83/00(2006.01)

10

【F I】

B 6 5 D 47/20 1 1 1

B 6 5 D 1/02 1 1 1

B 6 5 D 1/02 2 1 2

B 6 5 D 83/00 G

【手続補正書】

【提出日】令和5年2月6日(2023.2.6)

20

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

外層体と該外層体の内側に收容された減容変形自在の内層体とを備えるとともに、前記外層体と前記内層体との間に連通する外気導入口を備えた二重構造の容器本体と、

内容物の吐出口が設けられた頂壁部と該頂壁部に連なる筒状の側壁部とを備え、前記容器本体の筒状の口部に打栓により装着される吐出キャップと、

前記吐出キャップの内側に設けられ、前記吐出口に向けた内容物の流路を開閉する逆止弁と、を有する吐出容器であって、

それぞれ前記側壁部の内周面に設けられ、上下方向に延びる複数本の縦リブと、

前記口部の外周面に一体に設けられ、複数本の前記縦リブに食い込んで該縦リブにねじを転写するとともに前記吐出キャップが前記口部に対して相対回転したときに前記ねじに沿って移動して前記吐出キャップに上方に向けた押上げ力を加えるねじ部と、を有し、前記外気導入口が、前記口部に設けられており、

前記ねじ部が、前記口部の前記外気導入口と干渉しない位置に設けられていることを特徴とする吐出容器。

40

【請求項2】

前記吐出キャップが、前記容器本体よりも軟質の合成樹脂材料で形成されている、請求項1に記載の吐出容器。

【請求項3】

前記容器本体が、外プリフォームの内側に内プリフォームを組み込んだプリフォーム組立体をブロー成形して形成された、ポリエチレンテレフタレート製のブロー成形品である、請求項2に記載の吐出容器。

【請求項4】

前記吐出キャップが、ポリプロピレン製またはポリエチレン製である、請求項2または3に記載の吐出容器。

50

【請求項 5】

前記吐出キャップが、前記容器本体よりも硬質の合成樹脂材料で形成されている、請求項 1 に記載の吐出容器。

【請求項 6】

前記容器本体が、積層構造のポリソンを押出しブロー成形して形成された、低密度ポリエチレン製のブロー成形品である、請求項 5 に記載の吐出容器。

【請求項 7】

前記吐出キャップが、ポリプロピレン製である、請求項 5 または 6 に記載の吐出容器。

【請求項 8】

前記外気導入口よりも下方において前記口部の外周面に設けられた環状の口部側シール部と、 10

前記側壁部の内周面に設けられ、前記口部側シール部に全周に亘って当接して前記側壁部と前記口部との間を密封する環状のキャップ側シール部と、

前記頂壁部に設けられた外気の通気口と、をさらに有する、請求項 1 ~ 7 の何れか 1 項に記載の吐出容器。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】 20

【0009】

本発明の吐出容器は、外層体と該外層体の内側に收容された減容変形自在の内層体とを備えるとともに、前記外層体と前記内層体との間に連通する外気導入口を備えた二重構造の容器本体と、内容物の吐出口が設けられた頂壁部と該頂壁部に連なる筒状の側壁部とを備え、前記容器本体の筒状の口部に打栓により装着される吐出キャップと、前記吐出キャップの内側に設けられ、前記吐出口に向けた内容物の流路を開閉する逆止弁と、を有する吐出容器であって、それぞれ前記側壁部の内周面に設けられ、上下方向に延びる複数本の縦リブと、前記口部の外周面に一体に設けられ、複数本の前記縦リブに食い込んで該縦リブにねじを転写するとともに前記吐出キャップが前記口部に対して相対回転したときに前記ねじに沿って移動して前記吐出キャップに上方に向けた押上げ力を加えるねじ部と、を 30

有し、前記外気導入口が、前記口部に設けられており、前記ねじ部が、前記口部の前記外気導入口と干渉しない位置に設けられていることを特徴とする。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0016

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0018 40

【補正方法】削除

【補正の内容】